

相場状況について

いつもお世話になります。

さて 日本と欧州の「マイナス金利」は人類始まって以来の現象だそうですが、どうして人類初のことが起きたのか。その背景には、「世界的な高齢化や成長期待の低下」といった構造問題があると言われています。ただし、直接的には日本と欧州がマイナス金利による自国通貨の下落に依存した成長戦略を取ったことによる(不都合な真実)があるようです。欧州は通貨下落主導による成長戦略をマイナス金利政策で進め、連鎖的に北欧諸国にもマイナス金利が広がりました。

日本ではバブル崩壊後の超円高と資産デフレスの悪循環を断ち切るために、為替の円安への転換が悲願となっていました。アベノミクスの最大の成果はこの悪循環を円安・株高で脱したことにありと言われています。それが出来たのは米国経済の拡張とそれに伴う利上げの継続があったからです。日本が円安を享受するための「追い風」でした。

しかし今年7月米国の10年半ぶりの利下げがあり、「向かい風」に転じました。通貨戦争が世界的に広がるリスクをはらんでいます。米国というエンジンがなくなった上に競争相手になったからです。まだ通貨戦争になっていないのは、依然、米国への安心感があるからだといわれています。今後米国経済に変調が起こらないことを祈るばかりです。もしマイナス金利下での通貨戦争になれば各国金融機関の経営基盤の毀損を含めた大きな副作用が生じます。そして米国もマイナス金利になったら世界から金利はなくなってしまいかもしれません。日本や欧州でマイナス金利政策が出現したのは既存の金融政策では成長の処方箋が描けなかったからだそうです。今日 日本と米国にだけ通用しそうな現代貨幣理論(MMT)が巻き起こっていますが如何なものでしょうか。今後は特に米国経済とFRB(連邦準備制度理事会)の動向から目が離せません。

事業用不動産市況につきましては前月と特別変わった動きはないようです。

気になるのは事業用では大きい比重の輸送業界で、ヤマト・佐川急便の4~6月期の決算がはかばかしくありませんでした。増える外部委託費に見合う貨物量が取りにくくなっているのではないかとの疑問があるとの新聞のコメントでした。

賃貸借契約に関するご相談事(契約内容・本店商号・役員の変更等)がございましたらいつでもご連絡下さいませ。

※賃貸借中物件の家主様・借主様にアゲト及び市場調査を兼ねましてご連絡させて頂いております。以上、宜しくお願い申し上げます。

2019年9月吉日

株式会社コスモ不動産情報

本社 福井：090-8167-1330 (担当エリア：和泉・泉大津以南方面)
 堺支店 土居：080-5633-8055 (担当エリア：堺・高石・松原・富田林方面)
 東大阪支店 相川：090-1152-9928 (担当エリア：八尾・東大阪・北河内方面) (北大阪方面兼任)
 兵頭：090-4493-8570 (担当エリア：東大阪~大阪市東部方面)
 西大阪支店 佐久間：090-9212-9294 (担当エリア：大阪市~尼崎・神戸方面)

特販グループ 木下：090-3714-9526
 管理・リフォーム事業部 木下：090-3718-0485
 足立：090-3678-9240

相続・資産整理・任意売却担当 行政書士 福井：直通ダイヤル 090-8167-1330



HP:QRコード



リース&売買

株式会社コスモ不動産情報 本社
 〒596-0826 岸和田市作才町1-1-28
 アベビル3F
 TEL 072-433-2580 FAX 072-433-2833
 E-mail info@cosmo-fj.co.jp

堺支店
 〒590-0946 堺市堺区熊野町東3-2-25
 村上ビル201
 TEL 072-223-2511 FAX 072-223-2627
 E-mail info-sakai@cosmo-fj.co.jp

東大阪支店
 〒577-0012 東大阪市長田東4-2-32
 大真ビル904号
 TEL 06-6748-7110 FAX 06-6748-7120
 E-mail info-higashiosaka@cosmo-fj.co.jp

西大阪支店(西大阪研究所)
 〒551-0013 大阪市大正区小林西1-9-5
 TEL 06-6551-1127 FAX 06-6551-1100
 E-mail info-nishiosaka@cosmo-fj.co.jp